

◆令和 2(2020)年 1 月 29 日（水）ユニバーサル農業推進シンポジウム～農福連携で地域とつながる～を開催しました◆

農業者や福祉関係者など、多くの方々に農福連携への理解を深めていただき、実践につなげることを目的として、県内外の取組を学ぶシンポジウムを開催しました。

基調講演として、静岡県浜松市のホットファーム株式会社代表取締役である志賀口裕輔さんから、トマトの収穫作業や選果作業に障害者等が携わるビジネスモデルを構築し成果をあげている経験を踏まえ、障害者それぞれの性格や特性を理解することの重要性などをお話いただきました。

また、県内事例として、大田原市のマルホ建設株式会社代表取締役の星豪紀さんから、建設会社が福祉事業所と農業法人を設立し農福連携を進めるとともに、農業の振興や廃校の活用といった、地域の課題に対応する企業の取組についてお話しをいただきました。

農福連携の大きな可能性について、参加者の皆様にも伝わったことと思います。

今回の講演や参加者の皆さんの意見を参考に、栃木県では、引き続き農福連携を進めます。

※農福連携の詳細については、HP を御確認ください

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g01/work/nougyou/shokutonou/h24universal01.html>



多くの方にご参加いただきました



ホットファーム株式会社代表取締役 志賀口裕輔さん



マルホ建設株式会社代表取締役 星豪紀さん